

金山校だより
誇りある青春

〒999-5402
山形県立新庄南高等学校金山校
Tel 0233-52-2887
Fax 0233-52-3575
E-mail ykaneyama@pref.yamagata.jp

金山まちづくりフォーラム

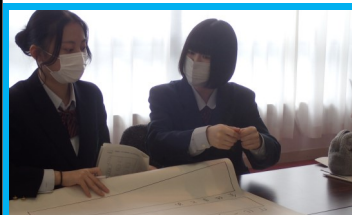
12月20日(火)金山町農村環境改善センター

金山町自律の町づくり基本条例第12条の「満20歳未満の町民は、それぞれの年齢に相応しい町づくりに参加する権利を有する」という視点から、金山町・最上地域の未来をつくる高校生が、郷土愛の精神を育むこと、また町政や町づくりに参加する経験を通し、地域社会の一員として必要な知識を身に付け、町づくりに積極的に参加する意識を養うため、平成27年に第1回「模擬議会」が開催されました。その後「金山まちづくりフォーラム」と隔年で実施しています。

今年度は「金山まちづくりフォーラム」が開催され、金山校全校生徒と教職員、そして町役場の若手職員がグループとなって、7つのテーマに分かれてワークショップを行いました。高校生が感じている金山町の課題について、役場職員の方からの説明やアドバイスをいただきながら、どのグループも活発な協議が繰り広げられました。

各グループの代表生徒と協議テーマ

	代表生徒	テーマ
1-A	地主 音南	農林水産業を活性化するにはどうすればいいか
1-B	松田 慎平	まち(商店街など)をどうやれば活性化できるか
2-A	三條 輝	金山校へどういう支援があればいいか
2-B	佐藤 妃奈	農家の減少にどう対処すべきか
3-A	柿崎 翔太	廃校、旧中央公民館跡地をどう活用するか
3-B	早坂 星妃	金山町の医療、福祉体制をどうしていけばいいか
3-C	後藤 凌駕	空き家を使った生活支援ハウスは可能か



佐藤町長からの講評

ワークショップは自分の考えを深める貴重な場。今回のテーマは現在の町の課題に合致するものであり、若手の町職員にとっても勉強の場となった。



須藤教育長からの講評

力を合わせて課題に立ち向かう姿勢は、今後の社会を生き抜く必要な力。今日のような探究的な学びを全校生で行うことに大きな意義がある。



3年次卒業研究プレゼンテーションin金山中(12/21)

卒業研究の集大成として、代表3名が金山中2年生を前に、これまでの研究成果を発表しました。内容は自分の志望する職業に関する研究で、中学生との質疑応答も活発に行われました。

〈発表者と研究テーマ〉

- ・栗田 七虹「役場の力は町の力
～町民に必要とされる役場職員になるために～」
- ・伊藤 実咲「最上地方の介護現状
～高齢化する最上を支えていくには～」
- ・柴田 佳羽「旅館業の今後～アフターコロナを見据えて～」



受験報告会(1/11)

1、2年次生のこれからの進路志望達成に向けた意識を高めることを目的に、就職(管内・県内・県外)、公務員、進学それぞれの代表者が、これまでの進路志望達成までの歩みを語ってくれました。これまでの勉強や試験での様子に加え、苦労したことや諦めそうになったこと、家族や友人・先生方への感謝などの生の声を聴き、1、2年次生は自分の進路目標達成に向けた気持ちを新たにしました。



スキー授業inカムロスキー場(1/20・21)

金山校恒例の全校スキー授業が、今年も2日間(3年次生は1日のみ)の日程で行われました。男女別に3つの班に分かれ、インストラクターの指導のもと、それぞれがスキーを楽しみました。中には、初めてのスキーに悪戦苦闘した人もいたようでしたが、良い思い出になったようです。



スキー部 **大活躍!!**

県高校スキー大会(1/13-15)

- ・フリー優勝 大場顕真
- ・クラカ優勝 小沼我央
- ・リレー優勝
(横瀬・小沼我・大場・渡部)

東北高校スキー大会(1/24-26)

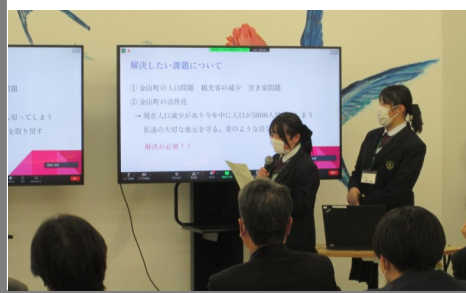
- ・フリー優勝 大場顕真
- 蔵王坊平で開催されるインターハイに向けて、大きな弾みとなる成績を上げてくれました。



やまがた

イノベーションプログラム 〈ビジネスプランコンテスト〉

地元最上地域の地域課題解決を目指すビジネスプランを作成・発表するコンテスト型のプログラム。金山校からは、1年次生の地主音南さんと齋藤悠菜さんが参加しました。テーマは「金山の食べ物を使った特産品作り」。



YBC山形放送

田苗 伸悟記者による授業 「平成・令和における 事件とニュース」

3年次生を対象に、日本史Bの授業で行いました。実際に担当した事件がニュースになるまでの工程を教えてもらい、取材で使用しているビデオカメラものぞかせてもらいました。

